

森かれん 森かれん公式サイト Facebookにて活動配信中!

後援会通信第2号



京都の新しい選択



好きな作家 辻仁成・近藤史恵
尊敬する人 両親
好きな言葉 向き不向きよりも前向き

- 1990 京都府立医大病院に生まれる 星の子スイミングスクールで水泳に熱中!!
- 2002 翔鸞小学校 卒業 吹奏楽(チューバ)を始め、音楽に没頭
中学2年生の時、生徒会長を務める
- 2005 衣笠中学校 卒業
- 2008 朱雀高校 卒業 吹奏楽と文化祭に全力で打ち込む。
社会問題への関心が強く、学業にも熟を入れる
- 同志社大学政策学部へ進学 政治、経済、法律を学ぶ傍ら、応援団へ。
身体と精神力が鍛えられました。
卒論発表会では、ゼミ代表に抜擢!
- 同志社大学応援団に入団
- 2012 (株)堀場製作所へ入社 半導体部門営業として全世界エリアを担当。
2年連続部門予算達成に寄与
- 2014 地域政党京都党上京区支部長就任
「京都をずっと暮らしやすい街にしたい、
何度も訪れたい街にしたい」との思いで一念発起。
市政に向けて上京区で挑戦中!!

森かれん、いつでも駆けつけます!

TEL075-366-6341 / mail:karen_mori_0211@yahoo.co.jp

- 上京区にお住まいの皆様、お困りごとがありましたらご相談下さい!
- 地域でのイベントなど、お手伝いできることは何でもやります!
- 忘年会・新年会、ご近所さんの茶話会など、お気軽におよび下さい!



サポーター大募集!!

■ 上京区でポスター掲示できる場所をご紹介ください ■ 上京区に住んでおられる方をご紹介ください ■ ボランティアスタッフも募集中です。

カンパご協力へのお願い

活動資金が不足しています。 振込先名義 森かれん後援会代表森かれん
切手、文房具なども大歓迎です。 京都銀行西陣支店 普通5078800

<http://morikaren.com/>

森かれん後援会事務所
〒602-0024京都市上京区上立売町8-9-2F(自宅から、新たに事務所を構えました)

翔鸞小、衣笠中、
朱雀高校卒業。
24歳

森かれん

平成生まれ、京都市政へ挑戦!

京都党 上京区支部長

人を育てることは、国(故郷)を育てること

中学生の時、「偏差値だけで生徒を判断する学校には行きたくない!」と先生の反対を押し切り朱雀高校へ入学しました。しかし、ことあるごとに人材や資金面において行政から不平等な扱いを受けていると感じ「京都は進学校の生徒しか育てる気がないのか?」と悔しい思いをしたことは今でも忘れられません。また、この高校時代の経験が政治を志すきっかけとなりました。

教育は国家百年の計という言葉もあるように、国や地方が発展するためには子どもたちへの教育は欠かせません。今行われる政治が、未来の担い手の運命を左右するということを自覚し、将来を見据えた行動をしなければならない。生まれ育った上京区から、京都市政に挑戦いたします。

森かれん

堀場雅夫(堀場製作所創業者)、村山祥栄(京都市議員)らによって地方主権時代に、国策優先・党利党略ありきの中央政党による地方支配からの脱却をめざし2010年8月結党。

国政を志向せず、ただ京都の未来と心中する覚悟で集った平均年齢31歳の青年政党。市議4名。新たに府政にも挑戦中。

党最高顧問からの応援メッセージ!!



株式会社堀場製作所 最高顧問 堀場雅夫

彼女は入社したときから誰よりも明るく元気。率先して全体朝礼で社歌の指揮を務め、社員に元気を与える存在です。彼女のように何事にも積極的で人に元気を与える若者の力が今の京都には必要です。是非、彼女の市政挑戦を応援してください!

シガラミのない勢力

全ての条例案が完璧ではありません。しかし、なんでも反対すればよい、というものでもないのです。京都の未来のために必要な条例案には賛成、将来に負担が先送りになる条例案には反対と、

是々非々のスタンスを徹底しています。京都党はたったの4議席ですが、一番シガラミのない勢力、平均年齢32歳が繰り出す未来志向の政策、地域土着の発想で存在感を示しています。

条例案に対する態度

賛成

反対

100%

公 民 自
明 主 民



共 産

党メンバー

最高顧問
株式会社堀場製作所最高顧問 堀場雅夫

顧問
京都府中小企業団体中央会会長 渡邊隆夫
元京都市副市長 高木壽一

政策顧問
同志社大学教授 村田晃嗣
同志社大学教授 風間規男

京都産業大学法学部教授 溝部英章

弁護士 小川顕彰

応援団長
マールブランシュ創業者 河内誠一

所属議員
村山祥栄 (代表/左京区)
佐々木隆吏 (中京区)
江村理紗 (右京区)
中島拓哉 (南区)

府・市候補予定者総勢15名!

京都党は「脱・与野党宣言」!!

私たち「地域政党京都党」は与党でも野党でもありません。本来、地方政治に与党も野党もありません。今必要なのは京都のためには是々非々で取り組む地域政党です。

2015 京都党マニフェスト

住みたい街を造る。
政治とは市民の生命を財産を守る
ことです。
常識にとらわれない。
価値観を仕組みを変える。
京都党のマニフェストはさらに
進化しています。

住みにくいけど、
住みたい街京都を造る。

今月のテーマ
日本一の大学進学率目指す！
今月号は教育特集！次号は財政再建策について特集します。

今取り組むべきこと

長きに渡り悪平等主義が支配し、公立に優秀校なしと揶揄された京都の教育政策。それに待ったをかけたのが、堀川の奇跡とまで言われた御所南小、堀川、西京高校といわれる教育先端校の誕生です。これにより、公立から京大への進学者をどんどん輩出できる環境になりました。しかし、その陰で取り残される教育底辺校の存在は見逃せません。新設校には優秀な先生が送られ、学力不振校はどんどん取り残されています。今取り組むべきは教育底上げです。

生涯賃金は中卒より高卒、高卒より大卒のほうが高いことはデータからもはっきりしています。すでに高い大学進学率を誇る京都市ですが、これから先、日本一教育水準の高い都市京都をめざすべく、底辺校の底上げを行います。

再チャレンジができる
仕組み作りを

施策は2つ。1つは学力差が激しい高校において学び直しができる(30分授業を実施したり、算数にまで戻り指導しなおすなど)エンカレッジスクールの創設。

もう1つは、高校入試「頑張り枠」の設置です。今の公立高校入試は評定の比重が高くなっていることもあり、挫折するなどして一時的に不登校になってしまった子どもたちなどにとって圧倒的に不利な制度になっています。もし、回復して中学3年生から懸命に、真面目に勉強したとしても、1・2年生の時の評定が足かせになって一生を左右する大きなハンデを負うこととなります。そのような子どもたちでも、再チャレンジができる制度として、一部の評定を無視した「学力試験重視」の「がんばり枠」を創設します。